天皇盃 第３８回全国車いす駅伝競走大会実施要綱

１　目　　的

この大会は、全国の身体障害者が車いすによる駅伝競走大会を通じて、障害者の社会参加の高揚と障害者スポーツの振興を図るとともに、社会の障害者に対する理解と認識を深めることを目的とする。

２　名　　称

天皇盃　第３８回全国車いす駅伝競走大会

３　主　　催

一般社団法人京都障害者スポーツ振興会

全国車いす駅伝競走大会実行委員会

京都府、京都市、公益財団法人日本パラスポーツ協会、一般社団法人京都府身体障害者団体連合会、公益社団法人京都市身体障害者団体連合会、社会福祉法人京都府社会福祉協議会、社会福祉法人京都市社会福祉協議会、公益財団法人京都府スポーツ協会、ユース２１京都、京都新聞、公益財団法人京都新聞社会福祉事業団

４　運営協力

一般財団法人京都陸上競技協会

５　後　　援　（予定）

スポーツ庁、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府市長会、京都府町村会、公益財団法人京都市障害者スポーツ協会、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、共同通信社京都支局、時事通信社京都総局、日刊工業新聞社西日本支社、ＮＨＫ京都放送局、KBS 京都、エフエム京都

６　特別協賛

オムロン株式会社（予定）

７　協　　賛

各企業及び団体等

８　協　　力（予定）

京都府警察、一般社団法人京都府医師会、公益社団法人京都府看護協会、日本赤十字社京都府支部、日本ボーイスカウト京都連盟、一般社団法人ガールスカウト京都府連盟、その他関係団体

９　開催期日・会場

(1)　開　催　日

令和９年３月１４日（日）　午前１１時３０分スタート

(2)　コ　ー　ス

国立京都国際会館前を出発、たけびしスタジアム京都（京都市西京極総合運動公園陸上競技場）を決勝とする全国車いす駅伝コース

10　参加資格

選手については、次のいずれかに該当する満１３歳以上（令和９年３月１４日現在）の者で、主催者が認定した者とする。ただし、イに該当する選手は、１チームあたり２名までとし、当該選手は区間賞の対象外とする。

ア　身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた車いす使用者

イ　上記ア以外の者

11　チ　ー　ム

(1)　チームの編成は、各都道府県で２チーム以内とする。ただし、政令指定都市のある道府県は、その都市数を加えた数まで編成することができる。

(2)　各都道府県でチーム編成ができない場合に限り、同一地域ブロック等でチーム編成することを認める。

(3)　１チームの編成は、監督１名、コーチ２名、選手７名、計１０名以内とする。

(4)　チームは、上記 (2)の場合を除き、同一都道府県内に在住、在勤又は在学する者で編成する。ただし、出身中・高等学校所在地、又は３年以上在住・在勤していた都道府県から出場することができる。

(5)　監督又はコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿にも登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の人員は選手を兼ねる監督又はコーチを含めて７名以内とする。なお、選手の編成は、男女を問わない。

12　競技規則

(1)　本大会は、2026 年度一般社団法人日本パラ陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定による。

(2)　競走には、一切伴走は認めない。

(3)　選手はヘルメットを着用すること。

(4)　選手は、主催者が交付したアスリートビブスを使用すること。

(5)　オーダーは、監督会議受付前（１５時～１５時３０分）に提出すること。なお、監督会議終了後から大会当日午前８時３０分までの間に負傷、疾病等により選手変更せざるを得なくなった場合は、オフィシャルドクターがホテルで待機しているので、その医師の診断書を添えて大会総務に申し出て、補欠をその区間の交代として補充することができる。

(6)　中継所において、競技運営上繰上げ出発することがある。

(7)　中継所より進行方向 40mのところに黄線を引き中継区域とし、この中で中継を行わなければならない。

(8)　中継は、中継区域内で次の走者の身体（車いすも身体の一部）に触れることで完了する。

13　区間及び距離

５区間　２１．３ｋｍ

第１区　６．４ｋｍ（国 際会館→京都大学前）

第２区　２．８ｋｍ（京都大学前→烏丸下立売）

第３区　２．４ｋｍ（烏丸下立売→烏丸紫明）

第４区　５．７ｋｍ（烏丸紫明→西大路御池）

第５区　４．０ｋｍ（西大路御池→たけびしスタジアム京都）

14　表　　彰

表彰は、チーム表彰及び区間賞表彰とする。

(1)　優勝チームに天皇盃及び賞状とカップを授与する。

(2)　２位及び３位のチームに賞状とカップを授与する。
(3)　優勝、２位及び３位のチームの選手にメダルを授与する。
(4)　４位から８位までのチームに賞状を授与する。
(5)　区間１位の者に区間賞を授与する。

15　開 会 式
(1) 日　　時　　令和９年３月１３日（土）17時30分～18時15分（30分前までに指定された場所に集合のこと）
(2) 場　　所　　ザ・プリンス京都宝ヶ池（京都市左京区宝ヶ池）

16　閉 会 式
(1) 日　　時　　令和９年３月１４日（日）14時～14時30分
(2) 場　　所　　にっしんでんきアリーナ京都（京都市体育館）

17　監督会議
(1) 日　　時　　令和９年３月１３日（土）16時～17時　※時間厳守願います。
(2) 場　　所　　ザ・プリンス京都宝ヶ池

18　コース下見（希望者のみ）
(1) 日　　時　　令和９年３月１３日（土）14時～16時
(2) 集合場所　　ザ・プリンス京都宝ヶ池　ロビー（移動はバスにより行う）

19　競技に関わる事故及び健康管理
(1)　主催者は、競技に関わる事故等については応急の処置を除き一切責任を負わない。
(2)　参加選手は、事前に各自で健康診断（心電図、胸部X線写真、血圧、血液検査、尿検査等）を受け、健康状態を確認しておくこと。
(3)　選手メディカル用紙と誓約書に各自必要事項を記入し、申込用紙と一緒に送付すること。
(4)　大会前日、選手は「セルフチェック」を必ず行い、監督はチームの所属選手について「セルフチェック」結果に基づき医師の診察の要否を判断すること（医師の診察は１２時３０分から１５時まで）。監督は、医師の診察結果を考慮し、所属選手の出場可否を決定すること。
(5)　大会に関わる全ての関係者は、感染症その他疾病等について注意するとともに、体調不良の場合は、来会や当日出場・参加を取りやめるなどの対応を行うとともに、主催者が定めた措置を遵守、指示に従うこと。

20　参加申込
(1)　申込書
　申込書の用紙は、全国車いす駅伝競走大会実行委員会が定めるものとする。
(2)　申込期限
　令和８年１２月１１日（金）（必着）
(3)　申込先
　参加申込書は、下記に提出すること。
　※可能な限り電子メールでの提出にご協力をお願いします。
　メールアドレス　kyoto@spo-shin.net

〒606-8106　京都市左京区高野玉岡町５　京都市障害者スポーツセンター気付
一般社団法人京都障害者スポーツ振興会内
全国車いす駅伝競走大会実行委員会事務局
（電話０７５－７１２－６００６　ＦＡＸ０７５－７１２－７０３０）

(4)　申込後の変更
何らかの事由で選手変更する場合は、大会事務局へ変更届を提出すること。

21　参　加　料
(1)　チーム参加料　１チーム５，０００円
(2)　監督・コーチ・選手参加料　各１人につき５，０００円

22　宿　　舎
参加選手及び役員の宿舎は大会実行委員会において斡旋する。なお、輸送等の関係から実行委員会で配宿するホテル以外の宿舎等への宿泊はできませんので、予め御了承願います。

23　個人情報の取り扱い
主催者及び大会事務局は、個人情報保護に関する法令を遵守する。取得した選手の個人情報は、本人の同意を得て，参加資格の審査、プログラム編成、大会ポスター・チラシの作成、報道機関からの問い合わせに対する回答、広報活動及び記録発表並びにその他大会運営に必要な用途に利用する。また、大会期間中の肖像権については主催者に属することとする。大会広報又は障害者スポーツの振興に有益と認められる場合、大会期間中に撮影された写真、動画等主催者の判断において使用する場合がある。

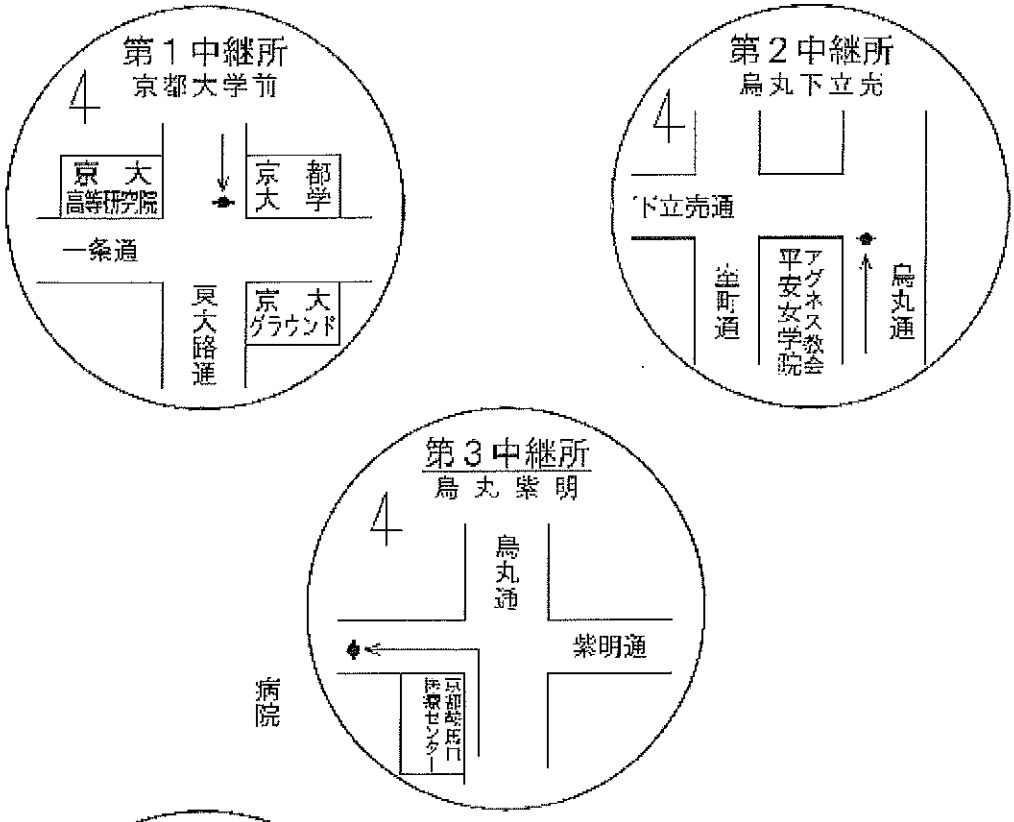
24　オープン参加について
満１３歳以上の障害のない者を３名以上含むチームの参加を認める場合がある。参加の場合は、本実施要綱における規定に従うこととする。ただし、必要経費については実費負担とし、表彰の対象外とする。

25　そ　の　他
(1)　傷害保険の加入については、主催者において行う。
(2)　参加者は大会当日、「マイナ保険証又は資格確認証（写しでも可）」を持参すること。
(3)　雨天時においても、原則として競技を実施する。
(4)　記録の発表は、競技本部から発表する。
(5)　補欠選手（希望者のみ）による１５００ｍ競走記録会を実施する。
(6)　感染症、社会情勢等、大会開催に影響を及ぼす不測の事態が生じた場合は、開催内容の変更、中止等の措置をとる。
(7)　出場チームに大会終了後、参加補助費を支給する。

天皇盃　第３８回全国車いす駅伝競走大会　コース図

国立京都国際会館 ⟹ **たけびしスタジアム京都（西京極陸上競技場）**

２１．３ｋｍ



区間及び距離

５区間　２１．３ｋｍ

第１区　６．４ｋｍ（国際会館→京都大学前）

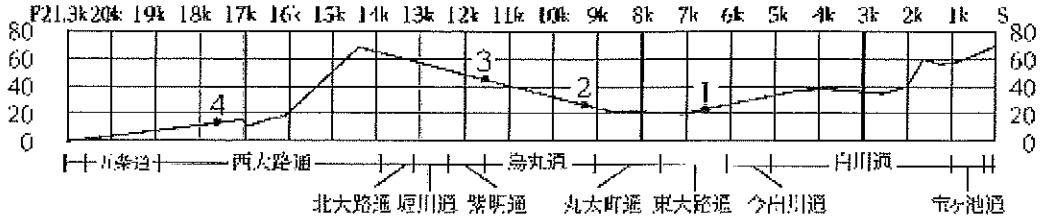
第２区　２．８ｋｍ（京都大学前→烏丸下立売）

第３区　２．４ｋｍ（烏丸下立売→烏丸紫明）

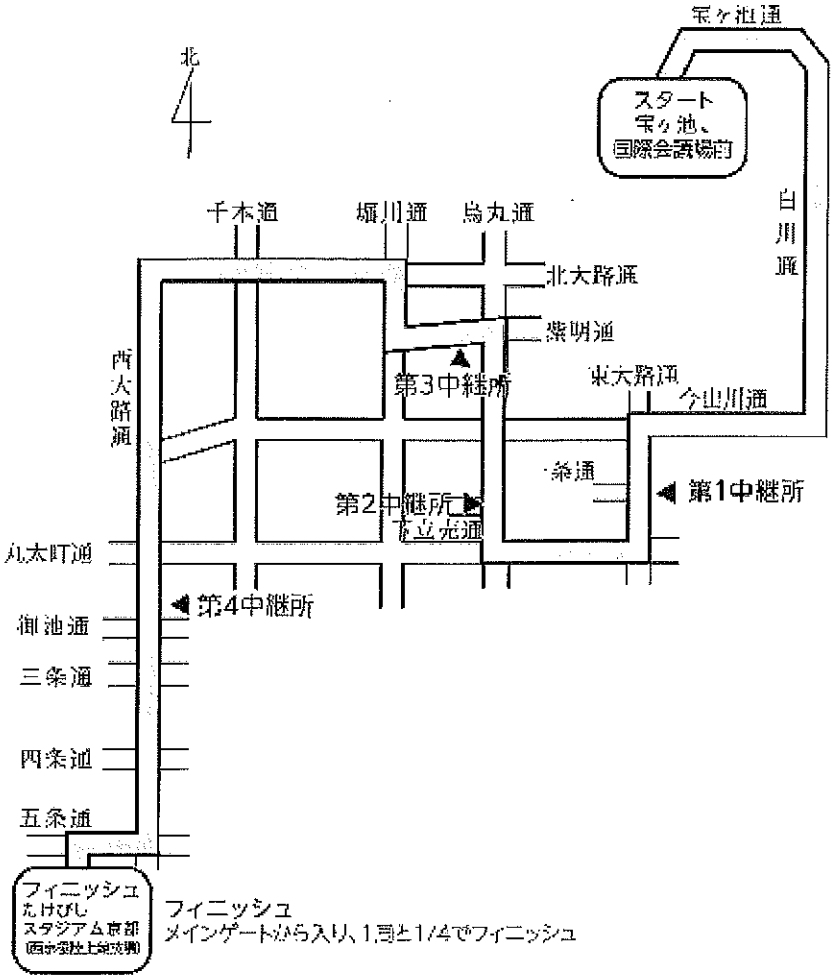
第４区　５．７ｋｍ（烏丸紫明→西大路御池）

第５区　４．０ｋｍ（西大路御池→たけびしスタジアム京都（西京極陸上競技場））

コース高低図



スタート
国際会館専用走路(同伴車両を従えてから
スタートし、宝ヶ池通を左折する際には片側
二車線(五側車線)のみ使用



フィニッシュ
メインゲートから入り、1周と1/4でフィニッシュ

天皇盃 第３８回全国車いす駅伝競走大会への参加申込上の留意事項

1　参加申込について

(1)　参加申込書（第１号様式）に必要事項（第２～３号様式）を添えて、令和８年１２月１１日（金）（必着）までに大会事務局あてに申込むこと。

(2)　参加チーム数は、各都道府県２チーム以内とする。但し、政令指定都市のある道府県については、その都市数を加えたチーム数の範囲とする。

(3)　政令指定都市のある道府県で複数チームが参加する場合のチーム編成は、同一道府県内で自由とする。

(4)　チームは、同一都道府県内に在住、在勤又は在学する者で編成する。
　ただし、チーム構成員の出身中・高等学校所在地、または３年以上在住・在勤していた都道府県から出場することができる。この場合、事前に都道府県間、チーム間の調整をしておくこと。又、申込書第１号様式の右端の備考欄に○印をし、別紙に出身学校名・学校の住所・卒業年月日、または、３年以上在住・在籍していた職場等の住所・在籍期間を記入のこと。（例：○○県の中・高等学校出身で出場する場合は「備考欄」に○をし、出身地出場選手名簿に※※学校、△△県＋＋市、□年▲月◆日卒業と記入）

(5)　各都道府県単独で選手人数不足のため、チーム編成ができない場合、同一地域ブロック内の複数の都道府県合同でチーム編成することも認める。

(6)　チーム編成でお困りの場合は、事務局にご相談ください。（075-712-6006、kyoto@spo-shin.net）

（例　○○県選手３名＋△△県選手２名でチーム編成）

ブロック	都道府県名	ブロック	都道府県名
北海道・東北	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	近　　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
関　　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	中　　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	四　　国	香川、徳島、愛媛、高知
東　　海	静岡、愛知、三重、岐阜	九　　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(7)　チーム名は、原則として各都道府県名を使用するものとする。但し、複数チームが参加する場合は、該当道府県名に「A」「B」等を付しその区分を明確にするか、若しくは道府県名と都市名を使用するものとする。また、ブロックチームの場合は、ブロック名を使用すること。
（例：○○A・○○B、○○県・○○市、△△ブロック）

(8)　参加にあたっては、当該都道府県・政令指定都市の身体障害者福祉主管課及び障害者スポーツ協会（団体）にその旨連絡しておくこと。

(9)　選手の参加資格は、令和８年１月１日以降の各種大会等で次のいずれかの参考記録を目安とする。
　３０００m走の記録が１２分、５０００m走の記録が２２分程度で走れることが望ましい。

2　参加申込書（第１号様式）

(1)　本申込書に記載されていない選手等は、本大会には出場できない。

(2)　年齢は令和９年３月１４日現在の年齢を必ず記載すること。（要・保険）

(3)　監督又はコーチが選手を兼ねる場合は、選手氏名欄にも氏名を記載し、住所欄にその旨記載すること。なお、この場合の選手の人数は７名以内とすること。

(4)　本大会では、競技に関わる事故等については応急の処置を除き一切の責任を負わないので、参加選手は、事前に各自で健康診断（心電図、胸部Ｘ線写真、血圧、血液検査、尿検査等）を受け、健康状態を確認しておくこと。なお、大会前日には、「セルフチェック」を行い、体調が悪い場合は申し出て、必ず医師の診察を受けること。

(5)　大会中の映像・写真・記事・記録・申込者の氏名、年齢等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権と肖像権は主催者に属することとする。

3　来会調査表（第２号様式）

(1)　来会人数と到着日について

３月１３日（土）伊丹空港に１１時３０分頃までに、JR 京都駅に１４時までに到着の場合に限り、ボランティアによる送迎を行う。それ以外の日程で来会する場合は、各自でザ・プリンス京都宝ヶ池まで来ること。

(2)　大会コースの下見希望の有無について

３月１３日（土）の１４時からコース下見を希望する場合は、人数と車いすの台数を記入すること。

※参加人数に応じて車両を調整するため、必ず事前に申し込むこと。

(3)　往路について

ア　記入例を参考に、出発地から京都市内までの経路を、交通機関、列車・航空便名（車の場合は台数）、到着時刻等を記載すること。

イ　競技用車いすとは、レーサー等で、競技に使用する（予備含む）もので、その台数と輸送方法について記入すること。事前に宅配で搬入する場合は、おって事務局から搬入先を指示する。

ウ　複数の方法で来会する場合は、来会方法ごとに人数及び経路を分けて記載すること。

エ　持込車両及び貸切バスによる場合以外の交通機関を利用して来会する場合は、実行委員会で用意するバス等で京都駅（又は大阪空港）から選手受付場所（ザ・プリンス京都宝ヶ池）まで計画輸送する。なお、関西国際空港へのバスでの輸送は行わないため、関西国際空港に発着するチームはＪＲ京都駅まで各自で来ること。（但し、空港・京都駅での乗降介助は行う）

(4)　帰路について

ア　記入例を参考に、京都から出発する交通機関、列車・航空便名（車の場合は台数）、出発時刻等を記載すること。

イ　持込車両等で来会しているチームは、閉会式後、ザ・プリンス京都宝ヶ池まで輸送する。閉会式後は輸送バス・トラック等で混雑するため、京都市西京極総合運動公園内に持込車両の進入を禁止する。また、競技場周辺への路上駐車は絶対にしないこと。

(5)　提出した来会調査票の内容に変更が生じた場合は、速やかに大会事務局に連絡すること。ただし、連絡の時期によって変更対応できない可能性があることをご承知おきください。

4　宿泊者名簿（第３号様式）

(1)　宿泊・食事について

ア　宿舎については、大会運営上の都合により、主催者で京都市内のホテルを確保する。なお、申込後の変更、取消等については、実行委員会が別途通知する旅行代理店と直接、調整するものとする。

イ　選手団（監督・コーチ・選手）の３月１３日（土）から１４日（日）にかけての宿泊代及び朝食代は、実行委員会で負担する。

ウ　実行委員会が斡旋する宿泊対象者は、参加申込書に記載されている全員であるが、選手団（監督・コーチ・選手）以外（介助・応援・視察等）の宿泊料については、１泊１食（朝食）宿泊税含む実費（２名１室利用TW１９，６５０円、１名１室利用S３０，３２０円、３名１室利用TRP１６，７９０円程度）の自己負担とする。なお、選手団と同一ホテルにならないこともある。

エ　３月１３日（土）の選手団の夕食は、実行委員会が提供する予定であるが、その方法については、交歓会の実施方法を含め改めて参加チームあて案内する。
選手団以外の方で選手団と同じ夕食を希望する場合は自己負担とし、夕食希望は、第３号様式右端の備考欄で確認するものとする。なお、選手以外の交歓会への出席については、希望に添えない場合がある。

オ　宿舎名、旅行代理店名等具体的な事項は、別途参加チームに連絡する。

(2)　監督又はコーチが選手を兼ねる場合は、選手団区分の「選手」欄にも○印を記載すること。また、各項目の必要な欄に○印、台数等を記載すること。

5　たけびしスタジアム京都（京都市西京極総合運動公園陸上競技場）で行う１５００m 競走記録会について

(1)　出場対象者は、天皇盃 第３８回全国車いす駅伝競走大会に参加申込した選手で、当日の正選手以外の選手とする。
(2)　出場を希望するチーム（選手）は、別紙第１号申込書に出場希望の有無等を記入し、駅伝申込書と同時に送付すること。
(3)　出場選手のエントリーは、事前に送付した用紙に必要事項記入の上、３月１３日（土）の監督会議受付時に提出すること。
(4)　当日、午前１０時３０分（時間厳守）に、たけびしスタジアム（西京極陸上競技場）記録会選手集合場所に集合すること。
(5)　組分け、レーン順は、主催者が決定し、前項選手集合場所で発表する。
(6)　アスリートビブスは、駅伝出場選手と同じく、所定のところに必ず着けること。
(7)　競技終了後、記録証を授与する。

6　その他

(1)　大会日程は、次のとおりである。
ただし、感染症等の社会情勢、関係機関との調整により時間等の変更の場合がある。

3月１３日（土）	１２時	受付開始（ザ・プリンス京都宝ヶ池）
	１２時３０分	医師の診察（～１５時） （セルフチェックの結果、所属チームの監督が必要と判断した場合には、必ず受診すること）
	１４時	コース下見（～１６時）
	１６時	監督会議（～１７時）
	１７時３０分	開会式
	１９時００分	交歓会（※）（～２０時）
	※内容については、検討中	
3月１４日（日）	１１時００分	出発式（国立京都国際会館前）
	１１時３０分	スタート（国立京都国際会館前）
	１４時００分	閉会式（京都市体育館）

(2)　大会参加者に対する計画輸送は、次のとおり行う予定である。

ア　持込車輌によらないで来会する場合の到着輸送＜京都駅・大阪空港～ホテル＞

イ　コース下見＜ホテル～コース～ホテル＞

ウ　大会の輸送＜ホテル～各中継所等～閉会式場＞

エ　持込車輌によらないで解散する場合の出発輸送＜閉会式場１４時４５分～
輸送開始・京都駅まで約３０分又は大阪空港まで約９０分＞

オ　持込車輌で解散する場合の出発輸送＜閉会式場～ホテル＞

(3)　チーム参加料、個人参加料については、事前振り込みをお願いすることとし、このことについては、参加チームが確定した後に事務局から連絡する。

(4)　大会当日が荒天時等で実施不可能と判断した時、大会は中止とする。
また、感染症等の社会情勢によって中止する場合がある。

(5)　ザ・プリンス京都宝ヶ池の所在地は
〒606-8505　京都市左京区宝ケ池
電話 075-712-1111　ＦＡＸ075-712-7677

(6)　不明な点がある場合は、次の大会事務局に問合せること。
全国車いす駅伝競走大会実行委員会事務局
〒606-8106　京都市左京区高野玉岡町５
京都市障害者スポーツセンター内（一般社団法人京都障害者スポーツ振興会）
電話 075-712-6006　ＦＡＸ075-712-7030
＜１０時～１８時＞（休日は、日曜日・祝日・火曜日・第３金曜日）
※他事業等で事務局を留守にする場合がありますのでご了承願います。